

平成15年度第1回行財政構造改革委員会会議概要（ホームページ掲載用）

開催日 平成15年 7月14日（月）午後7時から

ところ 市役所本庁舎2階会議室

出席者 本禄市長 下村企画財政部長

三上企画財政部理事 高橋企画調整課長 ほか

1 委嘱書の交付

本禄市長から、下記委員に対し委嘱書を交付する。

		氏名	所属
1	委員	横山 純一	北海学園大学 法学部政治学科 教授
2	委員	小山 光一	北海道大学 大学院経済学研究科 教授
3	委員	谷本 雄司	監査法人トーマツ 札幌事務所代表
4	委員	安田 睦子	(有)インタラクシオン研究所 代表
5	委員	佐藤 芳弘	(株)巴コーポレーション札幌支店顧問

小山委員は、所用により欠席のため、7月17日に訪問の上交付する。

2 市長から開会あいさつ

3 委員長の選出

委員長の選出は、互選により横山委員を委員長に選出する。

横山委員から委員長就任のあいさつがあり、引き続き委員長の司会進行により議事に入る。

4 議案について

議案については、資料に基づき行財政構造改革の推進方針などを事務局から説明。

5 意見交換及び決定事項

委員会を公開するか否かについては、「公開」とする。

今回は、第1回目であり踏み込んだ議論は時間等の制約もあってできないので、次回の2回目に時間をかけて議論することとする。

内容については、今回の資料に加え、詳細があったほうがよいものは、以下のものを第2回目に追加提出し、委員と事務局の認識を一致させていくこととする。



【委員から要望が出され、次回に提出する資料】

市職員の平均年齢・年齢構成と今後の推移

今後、一気に人件費が膨らむようなことが予想されるのかどうか。

高齢化率と今後の高齢化率の推移

高齢化が、国保会計を圧迫することになるのか。

繰り出し金に関する資料

特別会計の繰り出し金が大きくなっているの、今後減らせるのかどうか。

下水道会計や水道事業会計が今後急に大きくなるのか。

歳出の性質別は示されているが、財政を圧迫している原因を明らかにするため歳出を具体的に示す。今後膨らむものを掌握しているのか。

民間委託の金額（総額）及び委託先の状況（財団か企業か）

地区センターなど地区住民団体への委託の状況

地区住民が管理することで、住民が利用しやすくなっているか。

利用率や地域活動の成果が上がっているのであれば、歳出の大小ではないと思うので。ここ7・8年の公共事業の歳出についてその状況を時系列的に示す。

目玉事業に絞っていいのでそれを対象に、その時の財源は何を使ったのか。

（例えば、補助金だとか起債はどうだったのか）

6 その他委員からの意見

財政状況は、数字で見る限り道内の他市と比べ悪くはないが、かなり硬直している部分があると思われる。

改革はどれも必要だが、時間がない中で改革していくには、重点化するなど優先順位が必要であると思われる。